

# 里だより

No.366

令和4年7月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

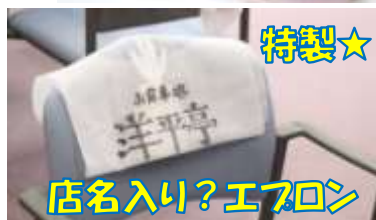
FAX 096-293-1579



地元産の肉  
おにぎり🍙  
スイーツ🍰

R4.5.26

## 生活介護 2班焼肉会



特製★

店名入り?エフロン



決算報告(計算書類).....9

編集後記.....8

行事予定・  
ありがとうございました・

行事報告.....7

サービス向上委員会より・

職員より・調理場より.....6

主任より.....3

サビ管より.....2

施設長より.....1

(ページ)

七月号もくじ



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



# 施設長より

## デジタルアート

世界情勢の不安定から身の回りのものが高騰しています。各ご家庭においても不安の種の一つだと思います。おまけに半導体不足から電子機器も手に入りにくかったり納期が大幅に遅れたりしています。事業所にとっても深刻な問題です。扱う金額も桁が違いますし、利用者さんの生活にも直結してきます。家庭と同じように、各々の節約意識の向上が必要になってきます。利用者支援には、経営面の安定も伴ってきますので、経済の動向にも注視していききたいと思います。

さて、令和三年度の事業報告・決算報告を理事会並びに定時評議員会でご承認いただきました。また、社会福祉充実計画も進めて参りたいと思います。尚、情報開示が必要なものにつきましては、ホームページ等にも掲載いたします。

先月SNSについて記載しましたが、「インスタ映え」が流行語大賞になったのは、二〇一七年で五年も前の話し。流行もめまぐるしく変わります。最近では動画の方が人気だとか。カメラ付きの携帯電話を手にして容易に写真が撮れるようになって、今ではスマホで映画並みの動画編集もできる時代になりました。また、デジタル社会の現在では、ひと昔前には、映画の中での世界だった仮想空間が、現実のものになっていきます。現実世界と仮想世界の混同や依存症の可能性など、デメリットも指摘されていますが、個人的には「メタバース」と「NFT」が気になっています。ゲームなどに疎い私からすると、仮想空間は程遠いものですが、こ

の「NFT」なるものは他のデジタルデータに所有権や取引記録などの識別子を持たせるため、デジタルアートなどにオリジナルの価値を持たせることが出来ます。デジタルデータは複製されたりしますが、オリジナルティーをつけることで、美術品のように本物にはそれなりの価値をつけることが出来るということです。つまり、利用者さんが作成したデジタルアートにも原本を存在させることが出来ます。利用者さんのデジタルアートが、アートとしての価値を評価され、値段が付き売り買いされる。もちろん「障がい」という括りはなく、アートそのものとしての価値を認めてもらおう。現在も様々なアート作品が評価されていますが、このようなことが身の回りで容易にできると良いだろうなと、利用者さんの作品に触れるたびに、仮想空間で出来ることを制限ある私の作品です。梅雨の時季、このようなアートに触れるのも楽しい時間です。

施設長 松永一博



Kさん撮影「あじさい」



Sさんタブレット描画「あさがお」

## サビ管より

### 丁寧な支援



利用者さんと関わる中で、職員は利用者さんに「伝えたい」「理解してもらいたい」と思っています。的確に伝わるような方法を考えますが、その結果は様々です。上手くいかなかったとすれば、それは何故かを考えなければなりません。例えば、「はい」「分かりました」といった返事や頷きから、理解されたものと受け取ってしまい、何度も同じやり取りを繰り返すことも多いようです。本当は理解できていないこともあるでしょうし、理解したけども忘れてしまうこともあるかもしれません。

本当にその利用者さんが分かるようなアプローチになっただのか、伝わった、理解されたと一方的に思い込んでいないかを少し立ち止まって考えてもらいたいと思います。

私達は生活の中で、見通しや予定を立てながら過ごしています。「仕事が終わって、買い物しよう」「明日の朝は七時に家を出よう」等々、先の見通しに関するものが多くを占めて、日常生活が成り立っているのではないのでしょうか。しかも、自分で考えるにあたっては、それほど苦労することなく、どちらかと言えば無意識に近い感覚で何気なく考えていると思います。しかし、そういった見通しが持てない場合どうでしょう。買い物をしなかったことで、食事の準備ができない、出発時間がわからないことで時間に遅れる等、不安や心配と合わせ、困りごとも多くさん出てくるだろうし、上手くいかないことばかりが増え、嫌な毎日になる

のではないのでしょうか。

一方で、そういったことに陥らないよう、丁寧なサービスを受けていることも多くあります。例えば、ホテルや旅館でチェックインする際には、部屋の案内やルームサービスについて、夕食、朝食の時間や場所、チェックアウトの時間等々、館内の図面やパンフレットを用いて、丁寧に説明していただけます。当然のやり取りのように感じてしまいましたが、仮にそういった説明が無かった場合を考えると不親切に思うでしょうし、見通しが持てないこと、分からないことを確認しようとするはずです。

利用者さんのやり取りで「下駄箱にきちんと靴を直してください」といった言葉を聞いたりします。おそらく、靴を脱いだままにしていることへの言葉かけだと思いますが、そもそも靴を片付ける行為が習得出来ない、自分の下駄箱がどこなのか分かっていない、といったことがあるのかもしれませんが。

職員は毎回言葉で伝えながら、欠かさず支援しているつもりでも、利用者さんが分かっていることに気づけていないこともあると思います。

利用者さんが時間をかけて出来るようになったことも、職員は繰り返し言ってきたから出来るようになったと感じるのでしようが、利用者さんの分かりにくさや困り感を早く捉えられれば、様々な工夫をもって、もつとスムーズに定着できたかもしれません。利用者さんからすれば、分かりにくさや困り感を感じながら過ごした不安な期間であったとも言えます。

他にも耳にする言葉から次のようなことを推測してみました。

## 施設PR委員会 今月の1枚!



**アジサイが満開の季節!**  
**朝の強歩中に施設に咲くアジサイを**  
**見つけて一緒に写るYさんです♪**

(職員)

「ご飯に行ってください」

(利用者)

「車に乗ってください」

「どこに?」

「髪切りますか」

「何で?」「どこに乗る?」

「外泊は〇日です」

「いつ?」「違う髪型にしたい」

「今日が何日か分からない」

等々、親切に伝えているつもりでも、情報量が不足していること、理解できていないこと、見通しがもてないことが、まだまだたくさんありそうです。親切で丁寧な支援が実践していけるよう、今の支援が適切なのか、その都度立ち止まってじっくり考えることを大切にしていきたいと思えます。

支援課長 今田 有哉

## 主任より

### 買い物の心得

未だコロナ禍。外出や外泊に制限がある生活の中、施設やグループホームで生活する利用者さんの『買い物』についての1コマです。

利用者さんの日用品や衣類、嗜好品等については、担当職員が月々お預かりしている小遣いから代理購入しています。

つくしの里に自販機がなかった頃は、利用者さんが好きな飲み物を職員がお店でまとめ買いし、利用者さん一人ひとりの分を『嗜好品棚』と呼ばれる棚に保管していました。今は自販機が設置されたことで、利用者さんが自分で見て選び、自分のお金を入れ、ボタンを押してジュースを手取る「買う楽しみ」があります。敷地内を散歩する途中、自販機の前で足を止め、買いたいジュースの下調べをされる利用者さんや、業者がジュースの補充や入れ替えに来られると、走って行って新商品をチェックされる利用者さんもいます。しかし、その他の品物、例えばマスク、歯ブラシ、歯磨き粉といった消耗品から、タオルや下着、時期によっては寝具や衣類等について、自由に制限なく買える物ができれば良いのですが、ジュースのような自販機はありませんので「買い物」は担当職員の腕にかかっています。

利用者さんに欲しいもの、買いたいもの、必要なものをお尋ねし、購入の依頼があると、まずは小遣いの範囲内で優先順位を決めます。「今月は散髪をしなくてもいい(まだ髪が短い)から、これも買えるかな」という相談に対し、計算して一緒に考

えます。買うものを決めた後は、数量、色や形など詳細に聴き取ります。そこで、買い物に出ることが出来ない時の救世主、通販のカタログやネットショップの登場です。コロナ前も利用はしていましたが、最近は利用頻度も高まりました。店舗での買い物は、事前聴取した買い物メモを持って行きますが、代理購入して渡してみると「ちよっと（こんな感じじゃなかった）」と言われることや、試着してサイズが合わないことでの返品交換も度々でした。通販会社から定期的に届くカタログや、いいなどと思う通販会社からカタログを取り寄せ、日頃から利用者さんに見てもらっておくと、話し合いもスムーズに進みます。カタログにたくさん折り目をつけて「これはどうかな」と作業の休憩時間に話に来られることも多くなりました。

自販機もカタログやネットショッピングも、二十年前の『嗜好品棚』時代、まとめ買いたしたジュースを入れた重たい袋を持って出勤していた頃を考えると進化したなあと実感するし、利用者さんが「（見て）選ぶ」「（自分で）決める」幅が広がったこと、返品や交換も減り助かっています。

職員は、自宅と施設を行き来し、感染症対策をしながらも、自由に「買い物」に行くことが出来ます。その中で利用者さんが「私の買い物なのに」と遠慮して気を遣って（店舗に）行くのは時間があるときでいいよ」と言ってくださることもあります。コロナ禍とはいえ、心が痛みます。だからこそ、利用者さんの買い物については、頼まれたら出来るだけ早く、イメージに近いものを、品質や着心地などもよく考えたうえで、少しでも安く、と心がけています。

先日、代理購入した品物と預かったお財布を利用者さんに返すと「ごめんね、遅くに」と言われました。レシートに打刻してあった時間が遅い時刻だったためです。遅出勤務の後に自分の買い物もあり立ち寄ったのですが「仕事で疲れているのに」との気遣いに、申し訳ない気持ちと、ありがたい気持ちでいっぱいになりました。買った衣類がしっくりこなかったら遠慮なく返品できることを伝えたり、マスクの素材が肌に合わないという話には自分が使ってみて良かったものをおすすめします。

「最近口臭が気になるから」という話には試供品をもらってきたりもします。少し高価な買い物であれば、複数の広告を一緒に見ますし、美容品で無料のお試しがあれば試してみるかも一緒に考えます。職員同士でこれはよかった、というものがあれば利用者さんとも情報を共有します。

買い物の話し合いの時に利用者さんから「いつまでこの生活なんだろう」「いつになったら旅行に行けるかな」と言われました。日頃から自分を悲観し、後ろ向きの発言が多い方ですが、寂しそうな表情の後、「（外出が解禁されたら）爆買いしてみたい」という一言に、コロナ禍でも楽しみをもって前向きに考えられることを嬉しく思いました。班で一泊旅行について話していた時にも「旅行に行ってお土産爆買い」「いっぱい買ったらダメって言わんでね」等の会話がありました。

少しでも感染状況が治まり、コロナ前の日常、もしくはアフターコロナ、ウィズコロナとして、何気ない日常に戻り『一泊旅行でお土産爆買い』出来る日が来ればと切に願っています。

主任支援員 長渕 さくら

## 幸せとは



最近のテレビのニュースではロシアとウクライナの戦争が多く取り上げられ、凄惨な内容に心を痛めるばかりです。私にも妻と娘がいますが「日本でも戦争がおきたらどうしよう」と考えて不安になる今日この頃です。このような事が起きていると自分の生活を振り返り、妻がいて可愛い娘がいて、仕事があつて友人がいて、客観的にみると自分はなんて幸せ者なんだろうと思いますが、現在の自分がどれほど幸せかは自分ではよくわからないのが本音です。

では、つくしの里の利用者さんは、つくしの里の生活に幸せを感じているのだろうかと考えてみます。私が好きな心理学者のアドラーが「幸せの条件」を出しています。

一つ目【共同体感覚】人が人を支配しない横の関係・協力関係である事です。「一人ひとりが自分らしく、しかもお互いが協力し合える関係」と定義されていますが、つくしの里の利用者さんはそう感じているでしょうか。ここで重要なのは「人が人を支配しない」という部分だと思います。利用者さん同士や職員との関係性の中で、人が人を支配するような状況を作らない事が、利用者さんが幸せを感じて頂ける条件だと思うので、横の関係を意識して班をまとめていこうと思います。

二つ目【自己受容】自分が好きだと思えて、自分にOKを出せる状態とあります。これは本人の自己受容の程度による部分が大きいです。自己受容とは、出来ない自分をありのまま受け入れ、できるようになるべく前へ進んでいく事。他者比較ではなく、あるべきでもなく、ありたい自分との比較。ふつうであ

る事の勇氣。不完全さを認める勇氣とあります。自己受容が低い利用者さんに対して自己受容出来るような支援を個別に考え、実践していく必要があると思います。また、他者に対してもOKを出せる事も重要です。他者を信頼し、任せるようになるれば、所属感へと繋がり、共同体感覚をより持てるようになります。

三つ目【貢献感】自分が役に立っている感覚としていきます。これも最初の二つに繋がる内容ではありますが、他者に貢献・影響しているという感覚で、あくまで自分視点です。「貢献し、場合によっては感謝を得て自分に価値があると思え、勇氣を得られる時、貢献感を得る」とあります。利用者さんの中にはちよつとしたお手伝いや共同作業等を通して「貢献感」を得られるような出来事はありますが、全ての方に対して出来ているかというと、そうではありません。利用者さんの幸せの為に貢献感が味わえる支援を行っていかれたらと思います。

長く話してきましたが、幸せを感じる事には個人差があつてなかなか難しいですが、往年の歌手が歌う歌詞に「なんでもなような事が幸せだったと思う」とあります。現在進行形では難しくても、過去になると幸せだったんだなと実感する歌詞です。無くしてから気付く事はすごく多いです。私の過去を思い返すと、辛い事や悲しい事はその都度ありましたが、過去の人生、自分は幸せだったんだなと思います。そのように利用者さんにも思つて頂けるよう、幸せのコツを考えながら利用者支援にあたっていききたいと思います。

主任支援員 平田 雄一

## 職員より



5月、生活介護2班に新規の利用者さん、Sさんが入所されました。新しい利用者さんが来られると、まず相手の事を「知る」事から始まります。何歳なのか、何が好きなのか、どのような活動をしようか…等。私はどちらかと言うと初対面の方ともコミュニケーションを取るのには得意な方ですが、利用者さん側からするとスタッフを受け入れるのは簡単ではありません。少しずつ時間をかけて双方が理解し、信頼関係が生まれていくものだと思います。入所されて2ヶ月が経とうとしていますが、Sさんも不満に思う事や「～がしたい」などを口にしてもらえるようになってきました。私たちスタッフ側も「こういう事をするのが好きなんだ」「今日はこういう事を言われていたよ」と情報を共有しています。今後も情報共有を含め、利用者さん達の為によりよい意見を出し合い、チームで支援を行っていききたいと思います。

(支援員 上村)

生活介護4班では、大津町役場で開催されている展示会の作品(手形アート)作りを行いました。

桜の木をモチーフに、指に絵具を付けて花びらや草等をスタンプしました。手を開くのが難しい方もおられましたが、利用者さん全員の手形を付ける事が出来ました。ピンク色の花びらも綺麗に仕上がり、素敵な作品となりました。完成作は思っていたより大きくて、利用者さん達もすごく喜ばれました。

日常の活動だけでなくレクリエーション他、皆で協力することを利用者さんも楽しんでくださるので、今後も定期的に取り入れていききたいと思います。(支援員 木戸)



## 調理場より

今回は、業務委託している日清医療食品(株)様のスタッフを紹介します。

6年ぶりの交代となる新しいチーフが2月に着任され、利用者さんや職員ともすぐに打ち解けられました。子育て中なので、毎日、退勤時は坂道をダッシュされています。他に調理場スタッフとして、男性1名、女性5名がローテーションで食事を提供していただいています。男性Sさんは味付け、盛り付け、包丁研ぎが抜群です。Nさんはキャプテン的存在で他のスタッフの動きを見ながらの段取りがとても上手です。Yさんの得意料理は「白和え」で絶妙な味付けです。Mさんはムードメーカーで利用者さんや職員にいつも優しく声をかけられています。Tさんは現場栄養士で、味の安定はもちろん、ミキサー食や刻み食の盛り付けにも細やかな配慮が感じられます。Uさんはスイーツ作りが趣味で、仕事にも活かしながら頑張られています。

私も含めて個性豊かなメンバーですが、「料理は心」をモットーに利用者さんの笑顔を引き出したいと思います。

(管理栄養士 奈須)



～令和4年度年間目標～  
「伝統料理や郷土料理に親しむ」

長崎県:トルコライス

## サービス向上委員会より



### ■ 行動障害【主任支援員 小嶋・支援員 井・松尾り】

自傷や他害行為に代表される著しい行動障害がある人に対して適切に支援が行えるよう、つくしの里では支援部の職員の殆どが、基礎的な知識と技術習得の為「強度行動障害支援者養成研修」を受講しています。実際につくしの里を利用されている利用者さんの中に、行動障害のある方がいらっしゃいます。研修で学んだ事を活かしつつ、日々の支援に取り組んでいます。もちろん簡単なことではありません。

利用者さんの不適応行動に対し「困った行動」と決めつけるのではなく、行動の背景や、利用者さん自身が何に対して困っているのか、どうすれば改善していくのか、しっかりと考え様々な技法や、学んだ知識を活かしながら行動の改善を目指し、支援していきます。

## 行事報告 ※ 5/21 (土) ~6/20 (月) について報告します。

### ★ 総合訓練【5月24日(火) つくしの里】

総合訓練として、消防署の方にご来園いただき、初期消火・通報・避難状況を見ていただきました。訓練の内容は、閉所日の日中に火災が発生したと想定して、閉所日の勤務者12名で初期消火・避難誘導を実施しました。消防署からの講評では「訓練の状況を見ていて延焼防止のための対応等もとられており、職員の防災意識の高さがみられ、スムーズな避難が出来ていた」とありがたい言葉をいただきました。その他、火災はいつ起こるかわからないため自火報の場所や消火器の設置場所、避難ルートの確認をしておくこと。避難後の負傷者の人数次第で救助の内容が変わるので負傷者の状況把握をしておくこと等のアドバイスをいただきました。まずは火災予防に努め、もし、火災が発生したときには迅速な判断・行動・避難が出来るように、今回の評価を今後の防災訓練に活かしていきたいと思えます。



(支援係長 竹下)

### ★ 生活介護②班焼肉会【5月26日(木) つくしの里】

今年度は、班内でグループ分けをして班外出を実施することにしました。

今回のグループは、未だに流行り続けているコロナウイルス感染症予防の為、施設内で焼肉会を行いました。本来は中庭で実施する予定でしたが、当日は天候に恵まれず室内で行う形となりました。私が担当する外出や行事は雨が多いので雨男かもしれません…(笑)。雨の中で行う焼肉会とはなりましたが、利用者さんからは、「おかわり!」「もう食べられん!」「美味しい!」等の言葉を沢山いただき、満足していただけたようです。そうした言葉もろうと自然と嬉しい気持ちになりますよね!今回、残念ながら施設内での食事会となりましたが、機会があれば外出して外の空気を満喫し、外食で美味しい物を食べてもらいたいです。

(支援員 甲斐よ)



## 行事予定



### ☆ バイキング昼食会 (つくしの里)

期 日：7月5日 (火)

内 容：利用者さん達からの熱烈なリクエストによりデザートバイキングを実施します。  
手作りお菓子盛沢山の甘いひと時になりそうです♪

### ☆ 生活介護①班イベント (つくしの里)

期 日：7月21日 (木)

内 容：おいしいお弁当をテイクアウトします😊

### ☆ 生活介護②班イベント (食事会場検索中)

期 日：7月28日 (木)

内 容：貸し切りの個室で久しぶりの外食を楽しみます♥

### ★バイキングメニュー★

デザートバイキング

鶏づくしランチ

・バターチキンカレー

・唐揚げとフライドポテト

・チキンコンソメスープ

・グリーンサラダ

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和四年五月二十一日～

令和四年六月二十日です



### 【寄付・寄贈】

- |           |          |
|-----------|----------|
| ・岩根 治美 様  | ・後藤 弘子 様 |
| ・米田 政輝 様  | ・下村 一恵 様 |
| ・芹川 一幸 様  | ・田上 至誠 様 |
| ・中島 茂 様   | ・廣瀬 悦美 様 |
| ・藤野 幸子 様  | ・光永 順子 様 |
| ・守田 勝之 様  | ・渡辺 昭子 様 |
| ・向井 榮子 様  | ・平田 靖人 様 |
| ・大津あゆみ園 様 |          |
| ・熊本善意銀行 様 |          |

### 【ボランティア】

- ・村里 和洋 様



誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

## 編集後記

「施設長より」でも報告させていただきましたが、五月二十七日に第一回理事会、六月十一日に定時評議員会を開催し、令和三年度の事業報告と決算報告をしました。無事に承認され、やっと一区切りつきました。次頁から決算書を掲載していきますので、ご確認ください。

さて、大津町は田植えの季節を迎えています。私の自宅周辺は田んぼが多く、晴れた日には、広々とした水田一面に青空が映り、清々しい気持ちになります。気分が滅入りがちな梅雨ですが、上手に気分転換したいですね。



法人単位貸借対照表

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

令和4年3月31日現在

（単位：円）

	資産の部			増減	負債の部			増減
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減	
流動資産	264,664,628	245,345,078	19,319,550	流動負債	38,682,548	44,008,142	-5,325,594	
現金預金	203,005,782	177,674,667	25,331,115	事業未払金	12,592,189	12,922,098	-329,909	
事業未収金	61,069,950	67,009,434	-5,939,484	1年以内返済予定借入金債務		253,800	-253,800	
立替金			0	預貯金	39,985	7,717	32,268	
前払費用	598,896	660,977	-72,081	職員預り金	6,971,374	7,001,527	-30,153	
				仮受金			0	
				貸与引当金	18,529,000	23,363,000	-4,834,000	
				役員退職慰労引当金	550,000	450,000	100,000	
固定資産	871,584,341	872,146,030	-461,689	固定負債	22,779,981	22,726,962	53,019	
基本財産	461,084,756	471,342,476	-10,257,720	引当金	22,779,981	22,726,962	53,019	
土地	73,133,245	73,133,245	0	退職給付引当金	61,462,529	66,735,104	-5,272,575	
建物	387,951,511	398,209,231	-10,257,720	負債の部合計				
その他の固定資産	410,599,585	400,803,554	9,796,031					
建物	1,597,057	1,867,015	-269,958	基本金	212,872,499	212,872,499	0	
構築物	26,320,965	29,562,885	-3,241,920	国庫補助金等特別積立金	105,542,265	110,749,572	-5,207,307	
機械及び器具	2,678,264	3,121,825	-443,561	その他の積立金	342,313,832	327,313,832	15,000,000	
車輦運搬具	5,718,271	5,284,257	434,014	移行時特別積立金	35,559,832	35,559,832	0	
器具及び備品	8,812,218	10,170,507	-1,358,289	人件費積立金	73,500,000	73,500,000	0	
建設仮勘定			0	修繕費積立金	68,700,000	68,700,000	0	
有形引当資産		253,800	-253,800	職員等購入積立金	16,200,000	16,200,000	0	
権利	378,997	502,471	-123,474	建設積立金	148,354,000	133,354,000	15,000,000	
ソフトウエア			0	次期繰越基數増減差額	414,157,944	399,820,101	14,337,743	
退職給付引当資産	22,779,981	22,726,962	53,019	(＜＞当期変動額)	29,337,743	10,899,184	18,438,559	
移行時特別積立資産	35,559,832	35,559,832	0					
人件費積立資産	73,500,000	73,500,000	0					
修繕費積立資産	68,700,000	68,700,000	0					
職員等購入積立資産	16,200,000	16,200,000	0					
建設積立資産	148,354,000	133,354,000	15,000,000					
流動負債合計	1,136,348,969	1,117,491,108	18,857,861	資産の部合計	1,074,886,440	1,050,756,004	24,130,436	
				負債及び純資産の部合計	1,136,348,969	1,117,491,108	18,857,861	

法人単位資金収支計算書

（自）令和3年4月1日 （至）令和4年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	障害福祉サービス等事業収入	422,542,000	423,242,266	-700,266	
	経常経費寄附金収入	2,928,000	2,978,840	-50,840	
	受取利息配当金収入	8,000	8,486	-486	
	その他の収入	490,000	617,903	-127,903	
	事業活動収入計（1）	425,968,000	426,847,495	-879,495	
	支出				
	人件費支出	285,471,000	284,287,760	1,183,240	
	事業費支出	54,438,000	50,847,677	3,590,323	
	事務費支出	48,260,000	46,927,667	1,332,333	
その他の支出	436,000	435,398	602		
事業活動支出計（2）	388,605,000	382,498,502	6,106,498		
事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）	37,363,000	44,348,993	-6,985,993		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入		0	0	
	固定資産売却収入		53,720	-53,720	
	施設整備等収入計（4）	0	53,720	-53,720	
	支出				
固定資産取得支出	9,439,000	9,438,550	450		
ファイナンス・リース債務の返済支出	254,000	253,800	200		
施設整備等支出計（5）	9,693,000	9,692,350	650		
施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）	-9,693,000	-9,638,630	-54,370		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	2,342,000	2,343,586	-1,586	
	その他の活動収入計（7）	2,342,000	2,343,586	-1,586	
	支出				
	積立資産支出	17,600,000	17,396,605	203,395	
その他の活動支出計（8）	17,600,000	17,396,605	203,395		
その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）	-15,258,000	-15,053,019	-204,981		
予備費支出（10）	3,332,000		3,332,000		
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）	9,080,000	19,657,344	-10,577,344		
前期末支払資金残高（12）	225,403,736	225,403,736	0		
当期末支払資金残高（11）＋（12）	234,483,736	245,061,080	-10,577,344		

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）  
法人単位事業活動計算書

（自）令和3年4月1日 （至）令和4年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	障害福祉サービス等事業収益	423,242,266	429,547,784	-6,305,518
	経常経費高附金収益	2,978,840	2,675,080	303,760
	サービス活動収益計(1)	426,221,106	432,222,864	-6,001,758
	費用			
	人件費	279,606,779	302,089,606	-22,482,827
	事業費	50,847,677	53,786,546	-2,938,869
	事務費	46,927,667	45,907,507	1,020,160
	減価償却費	24,953,259	25,691,537	-738,278
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-5,207,307	-5,408,535	201,228
サービス活動費用計(2)	397,128,075	422,066,661	-24,938,586	
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	29,093,031	10,156,203	18,936,828	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	8,486	40,730	-32,244
	その他のサービス活動外収益	617,906	1,812,450	-1,194,544
	サービス活動外収益計(4)	626,392	1,853,180	-1,226,788
	費用			
	その他のサービス活動外費用	435,398	1,110,192	-674,794
サービス活動外費用計(5)	435,398	1,110,192	-674,794	
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	190,994	742,988	-551,994	
経常増減差額(7) = (3) + (6)	29,284,025	10,899,191	18,384,834	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	2,431,000	-2,431,000
	固定資産売却益	53,719		53,719
	特別収益計(8)	53,719	2,431,000	-2,377,281
	費用			
	固定資産売却損・処分損	1	7	-6
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	2,431,000	-2,431,000
	特別費用計(9)	1	2,431,007	-2,431,006
	特別増減差額(10) = (8) - (9)	53,718	-7	53,725
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	29,337,743	10,899,184	18,438,559	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	399,820,101	388,920,917	10,899,184
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	429,157,844	399,820,101	29,337,743
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	15,000,000	0	15,000,000
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	414,157,844	399,820,101	14,337,743	